

Vol.1 "Timeless Elegance - Traditional Performing Arts and Contemporary Art as the Highest Expression of Living Human being"

遊の会

故きを学びて

道を知る

能『仕舞 獅子』

シテ方：梅若紀彰

地謡：小田切亮磨 鷹尾雄紀

笛：福原 徹

オブジェ：樋川ゆき

長唄と映像のコラボレーション

『藤娘／船弁慶』

唄：芳村金秀

三味線：東音越智義乃 東音田井藍古

囃子：藤舎夏美

映像：鷺山啓輔

創作『乱』

日本舞踊：西川祐子

能シテ方：梅若紀彰

笛：福原 徹

三味線：東音越智義乃

オブジェ：樋川ゆき

映像：鷺山啓輔

パフォーマンス／オブジェ：宇佐美 妃湖

※終演後、出演者による
アフタートーク(15分)があります

2026年3月21日(土)

昼の部：14時開演

夜の部：17時開演

※開場は各回開演の30分前

会 場：Art Center NEW

みなとみらい線「新高島」駅より直結 徒歩30秒

<https://artcenter-new.jp/>



遊の会 yu-no-kai.jp

遊の会

故きを学びて
道を知る



梅若紀彰
能楽シテ方観世流



東音越智義乃
長唄 荻江節
一中節三味線方



福原 徹
邦楽囃子笛方



西川祐子
日本舞踊家

上演作品について

本公演のキーワードは、「定めなき水の流れ」。
水は光の中を、闇の中を、何ものにも執着せず、ただ静かに海へと向かいます。
その“水のあり様”を描き出すように、水のイメージとゆかりの深い古典作品、
そして本邦初演となる創作作品をご覧ください。

まずは古典から。能楽の神髄を凝縮した仕舞「獅子」。続いて日本舞踊でも人
気の高い「藤娘／船弁慶」を、長唄演奏とともにダイジェストでお届けします。
芸能の原点へ立ち返るようなひとときが、古典への扉をそっと開きます。

創作作品では、横山大観による水の一生を描いた壮大な絵巻「生々流転」から
着想を得た「乱」を上演。
全長40メートルの絵巻の余白に想いを馳せつつ、白龍と黒龍が出会い、水の
始原へと旅する新たな物語を、能楽と日本舞踊の道行で表現します。

各演目は、現代美術のオブジェ・映像・インスタレーションと並列展示の形式
で上演されます。伝統と現代が視覚的に融け合う光景は、古典作品に新たな
光を投げかけ、伝統芸能の中に潜む可能性をさらに引き出します。

公演冒頭には、現代アーティストによる自作紹介と、司会による演目解説を
行います。終演後には、出演者同士が世代やジャンルを超えて語り合うクロス
トークを実施。互いの違いと共通点が交感する瞬間に立ち会うことで、鑑賞
体験はより豊かに、より深く広がってゆきます。

2026年3月21日(土)

昼の部：14 時開演

※開場は各回開演の30分前

夜の部：17 時開演

会 場：Art Center NEW

<https://artcenter-new.jp/>

入場料：10,000円 U25 割引 5,000円

*全席自由席

*お支払いは、当日受付にて現金のみ承ります。

■参加申込

本公演は事前予約の方から先に入場いただきます。
当日券をお求めのお客様は、予めご了承ください。

【Eメール】office@yu-no-kai.jp

*お名前、電話番号、希望の部、券種を明記ください。

【お電話】03-3355-6878 一般財団法人西川流(平日 8~16 時)

【予約フォーム】<https://forms.gle/Jgwc8BAXADYn3QXT8>



■会場案内

Art Center NEW

みなとみらい線「新高島」駅より直結
徒歩30秒

〒220-0012

神奈川県横浜市中区みなとみらい 5-1
新高島駅 B1F

Tel・Fax：045-414-5300



本物の日本文化を自然体で楽しむ「遊の会」
第四回となる今回は、横浜の現代アートの拠点
Art Center NEW を舞台に、
日本舞踊、能楽、邦楽演奏、そして現代美術が
“水／海の世界”を通じてつながります。
古典から創作まで、多彩な作品を再構築し、
伝統芸能と現代美術が響き合う
まったく新しい舞台体験をお届けします。
「21世紀における日本の伝統文化のあり方」を
探求しつつ、現代美術の展示空間そのものを
味わえる贅沢な時間。
ここでしか生まれないユニークな視点と世界観を、
どうぞご堪能ください。

西川祐子(日本舞踊家) 六歳より父・西川扇蔵に手ほどきを受ける。
二十二歳より花柳茂香師に師事。祐子の会を主催するほか、えんの会、
NHKや国立劇場主催公演等に出演。また、平成二十六年より祐子の
しおり、研修会「日本舞踊の彩」を西川流稽古場で催す等々、普及
活動にも尽力している。日本舞踊振興財団評議員、川村学園女子大
学非常勤講師、大妻日本舞踊クラブコーチ。「日本伝統芸能教育普及
協会」理事。「東洋英和女学院楓の会」役員。文化庁芸術祭優秀賞など
受賞。振付作品に「井筒」「あらべすく」「道成寺」「影媛」など。
<https://yuko-nihon-buyou.jp/>

福原 徹(邦楽囃子笛方) 六世福原百之助(四世寶山左衛門・人間国
宝)入門、福原徹の名を許される。東京藝術大学音楽学部邦楽科
卒業。邦楽囃子笛方として、長唄・箏曲などの演奏会、日本舞踊・
歌舞伎の舞台、放送、海外公演等で、篠笛・能管の古典演奏活動
を続けると共に、笛を中心とした作曲に取り組む。2001年よりリサイ
タル「徹の笛」を開催。2025年第15回を開催。平成13年度文化庁
芸術祭大賞、令和5年度芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。東京藝術
大学、洗足学園音楽大学、清泉女子大学、立命館大学などの非常勤
講師を歴任。令和7年紫綬褒章受章。<https://fukuharatoru.jp/>

東音越智義乃(長唄 荻江節 一中節三味線方) 東京生まれ。吉住小十
に長唄の手ほどきを受ける。その後、東音菊岡裕見に三味線を師事
する。東京芸術大学入学、同大学院修了。東音会同人となる。荻江
節を荻江節家元三世荻江寿友に師事、一中節を六世家元宇治俊文派
代表宇治はるに師事し名取となる。長唄 荻江節 一中節で舞踊会、
演奏会、NHK放送、TVコマーシャル等で活動。自身のリサイタルを
開催し、毎回創作曲を発表。創作曲「散華幻想～後の静」で中島勝祐
創作賞を受賞する。

梅若紀彰(能楽シテ方観世流) 昭和31年生まれ。五十五世 梅若六郎
の孫。祖父ならびに梅若桜雪に師事。昭和35年「鞍馬天狗」花見の
役で初舞台。昭和43年「小袖曽我」にて初シテ。「道成寺」「猿捨」
「檜垣」等数々の太曲を勤める。平成22年 梅若紀彰(二世)を襲名。
古典はもとより新作能にも積極的に取り組み、ニューヨーク・カー
ネギーホール公演、パリ・オペラ座公演等海外公演も数多く参加。令和
4年横浜文化賞受賞。令和7年日本芸術院賞受賞。「梅栄会」主宰。
梅若会評議員。梅若実文庫理事。重要無形文化財総合指定保持者。

遊の会
yu-no-kai.jp

主催／西川祐子(遊の会 主宰)
企画プロデュース・構成・演出／玉塚 充(タマプロ)
マーケティングディレクター／高橋正登(UPNEXT)
宣伝美術／アポロスタジオ 後見／ストット 伶 深澤 瑛太 中川 響
制作／伊藤さやか(MUSICA) 映像監督／寛山啓輔